

平成 31 年 1 月 31 日

<各位>

ナノキャリア株式会社  
代表取締役社長 中富 一郎  
(4571 東証マザーズ)  
問合せ先 取締役CSFO兼社長室長 松山哲人  
電話番号 03-3241-0553

## VB-111 を用いた米国における臨床開発について VBL 社が開発計画を発表

この度、今後の VB-111 に関する臨床開発について、VBL 社（イスラエル）から計画が発表されましたのでご案内いたします。

VB-111 のポテンシャルは高く維持されている

GLOBE 試験（rGBM 第Ⅲ相臨床試験）のデータは、他のレジメン※<sup>1</sup>や適応症における VB-111 の潜在的な有効性に影響を与えるものではないと考えています。

- 卵巣がんを対象とした承認申請用試験（OVAL）を進行中で、免疫機能に関するデータ等を本年 3 月に行われる第 50 回婦人科腫瘍学会(米国ハワイ州)で発表予定。
- 再発悪性膠芽腫（rGBM）を対象とした医師主導の第Ⅱ相臨床試験を計画中。  
開始予定：2019 年春頃（スポンサー：ハーバード大学系病院）  
結果判明：2020 年半ば
- 消化器がんを対象とした免疫チェックポイント阻害薬併用の共同臨床研究を計画中。  
開始予定：2019 年後半  
結果判明：2020 年末

VBL 社は、rGBM に関する第Ⅲ相臨床試験の詳細な画像データ解析を取得予定ですが、併行して、米国で著名な脳腫瘍医師の主導で再び第Ⅱ相臨床試験を検証する試験を行うことになりました。当社は、VB-111 のポテンシャルの高さを評価し、全身投与型の遺伝子治療薬としての可能性に期待しております。

尚、本件による平成 31 年 3 月期の業績への影響はございません。

※ 1. レジメン：用法・用量、治療期間等を明記した治療計画。

※ 2. VB-111 の開発方針が記載されております資料の一部を抜粋してご案内いたしますが、詳細は下記原文の英文が優先されますことをご承知おきください。

<http://ir.vblrx.com/static-files/6850a18b-f512-4bca-bed0-c7aa9e9e9cf2>

以上